

## 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果

令和4年4月に全国の小学校6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査が行われました。この度結果が送られてきましたので、調査結果の概要と今後の指導方針についてお知らせいたします。

### 【教科別学習状況調査の結果】

	国語	算数	理科
平均正答率 (%)			
本校	51	50	56
神奈川県 (公立)	65	64	63
全国 (公立)	65.1	63.2	63.3
具体的な 学習状況	<p>○よい状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述をもとに捉えることができる。</li> <li>登場人物の相互関係について、描写をもとに考えることができる。</li> </ul> <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人物像や物語の全体像を具体的に想像することができる。</li> <li>文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章全体を整えることができる。</li> <li>漢字を文の中で正しく使う。</li> </ul>	<p>○よい状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>整数のかけ算を正しく行うことができる。</li> <li>百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができる。</li> </ul> <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>百分率で表された割合を分数で表すことができる。</li> <li>正三角形の意味や性質をもとに、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる。</li> </ul>	<p>○よい状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>問題を解決するために必要な観察の視点をもとに、問題を解決するまでの道筋を構成することができる。</li> <li>観察などで得た結果を、他者の気付きの視点で分析することができる。</li> </ul> <p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈することができる。</li> <li>観察などで得た結果を、結果から言えることの視点で分析して、解釈することができる。</li> </ul>
課題に対する改善 の手立て の一例	<p>読み取りの基本となる、言葉の意味や使い方、漢字の練習を繰り返し行う。</p> <p>語彙を増やし、知識の定着ができるように、普段から意識して習った言葉を活用したり、短い文章を書いたりする言語活動を重点的に取り入れる。</p>	<p>基本となる計算力の習得については、スキルタイムや家庭学習を活用し、根気強く取り組み、定着を図る。</p> <p>図形の構成の仕方を考察したり図形の性質を見いだしたりする力を養えるように、拡大図と縮図などの単元で考察する時間を十分に確保する。</p>	<p>多面的な考え方をもてるように、問題解決に向けて複数の方法を用いて取り組めるようにする。</p> <p>結果から妥当な考えを導くことができるように、一人ひとりの実験観察の時間を十分に確保し、考察の時間も確保する。</p>

## 【児童質問紙調査（児童意識調査）の結果】

### ◇特色

- ・携帯電話・スマートフォンやコンピューターの使い方を家の人と約束を守っている児童が少ない。
- ・一日あたりのゲームの利用時間が長い傾向にある。
- ・学校でのICT機器の利用頻度が高く、効果的に使用できている。
- ・地域の行事に多く参加し、地域を良くしようとする意識が高い。
- ・「自分にはよいところがあると思いますか」の質問に対して、当てはまらないと答える児童が多く、自分のよいところに気付きにくく、自信がない傾向にある。
- ・各教科の学習に関して好きだと答える児童が多い一方で、内容は理解していない。特に、算数に関する苦手意識が高く、問題が理解できないとすぐ諦めてしまう傾向にある。

### ◆今後の手立ての一例

- ・授業の中で、1時間を振り返る時間を十分に確保し、1時間の学びを自分の言葉で表現できるように場を設定する。
- ・学校生活で全校を引っ張る役割や、他学年との交流の場などの他者との関わりの中で、互いのよいところに向けて、伝え合う場を設定することで、自己有用感を高めていく。